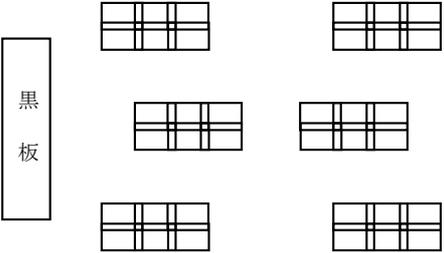


保育案 1

No	3 歳児：ばなな組	活動日 2005 年 6 月 20 日 (金)	指導者名	○△ □◇	
題 材 名		まあるくっておいしいもの			
活動主題	B	A：材料や技法との出会いや行為を楽しむ。 B：見立てて遊ぶ。 C：いのちのつながりを感じてあらかず。 D：おもいを伝える			
ねらい ・ 経験させたい材料（用具）や技法 ・ 楽しませたい活動（遊び） ・ 育てたい（発揮させたい）力 など		・ イメージを持ってパスの線で描く。 ・ 円から発想する見立て遊びを楽しむ。 ・ のり貼り遊び。 ・ なぐりがきからの脱却。円を描く事が出来るようになる。			
準備物	準備すべき材料・用具 ・ 画用紙（八切りを楕円に切る）白など ・ 円に切った大中小の色画用紙（複数色用意）一人 5 枚程度をグループごとに用意 ・ パス（個人持ち） ・ 糊・糊敷き紙・糊雑巾	環境設定	黒板 		
導入・支援のポイント	T 「お腹が空いたなあ」 S 「えー！！」 T 「だって、朝ご飯食べてこなかったんだよお」と困った顔 S 「だめだよ～」 ※楕円に切った画用紙を取り出して。 T 「おやつを食べようかな？」「あれれ！先生おやつも忘れちゃった！！」とからっぽのお皿を見せる。 T 「ここに、まあるくっておいしいおやつが入っていたのに～！」 S 「クッキー？」「おせんべい？」 ※ 子どもたちが口々に丸いお菓子を言うので、なぞなぞ風のやりとりを楽しむ。 ※ ある程度のやりとりのあと円形に切った色画用紙を見せる。 T 「みんな、ここにおいしいおやつの素があるから、いろいろなおいしい味を付けてくれる？」と投げかける。		留意点	・ 導入後出来るだけすぐに活動に入れるようにお皿に見立てる画用紙は画板に乗せて配置しておく。 ・ みんなのお皿も空っぽであることに気付かせる。 ・ 円形のおやつという投げかけから多様なイメージが出てくるように発言をさせる。 ・ 色画用紙にパスで線や点を描いて「味を付ける」という見立て遊びを誘う。 ・ 糊で貼る事は最後が良い。	
省 子どもの状態 & 反	・ ドーナツなどの意見が出るので穴の空いた画用紙も用意してもよかった。 ・ 味を付けるというイメージではなぐりがきになってしまう子が多く、円を意識して描く活動にはなりにくい。円からの発想で見立て遊びに徹底した方が良い。 ・ 円を描く遊びなら、円に切った画用紙ではなく、自分でお皿の上にパスで直接描くようにする方法もある。				

